

キラ 輝っと さきベ



世代間交流ニュースポーツ大会という一大イベントを終え、総会で示された今年度の事業推進のための新たな取り組みが始まっています。理事会では、一斉合同部会・親睦球技大会・公民館まつり組織図などの検討を行い、着実に自治協運営が行えるように努められています。地域の皆さんのご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

崎辺地区自治協議会だより

No.29

発行日：R1.8.20

事務局：崎辺地区公民館内

場所：佐世保市十郎新町3番7号

☎：(0956) 27-2170

E-mail：sakibe-ziti@tvs12.jp

めざそう！ 緑と海に囲まれた

美しいまち 輝っと「さきベ」



「一斉合同部会」開催！ 各部会の取り組みを考えた！

崎辺自治協議会独自の行事である、事業推進のために全部会構成員が一堂に会し行う【第1回一斉合同部会】が、7月16日(火)に66名の方の参加を得て開催されました。前川会長の挨拶の後、事務局から「一斉合同部会の意義」と「会の進め方・協議事項」について説明があり、まず、各部会では部会員の自己紹介、部会長・副部会長の選出・確認などが行われました。その後、部会担当事業の確認や新規事業として取り組んでみたい活動などについて話し合いが進められました。



今回は、防災訓練に向けた計画を立てるために防災危機管理局から、地域の安全面を考えるために天神交番から、地域の福祉推進のために山澄地域包括支援センターからなど、前年度より多くの関係団体からの出席があり、充実した合同部会になったと前川会長も喜んでおられました。

また、総務部会員(各町の会長及び婦人部長等)が各部会の相談役として、会の進行や協議内容についての助言等をしていただきました。

ここで、各部会の部会長(◎印で表記)と副部会長(○印で表記)を紹介します。(敬称は省略します)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| ◆ 総務部会 … ◎ 金子 孝成(西天神町公民館長) | ○ 日高 直子(西天神町婦人部長) |
| ◆ 生涯学習部会 … ◎ 河野 茂樹(東天神町公民館長) | ○ 鶴田なをみ(東浜町一組自治会長) |
| | ○ 前田 又治(東天神町体育部長) |
| ◆ 青少年部会 … ◎ 北野 孝男(青少年育成会会長) | ○ 中元 三鶴(主任児童委員：西天神) |
| ◆ 保健福祉部会 … ◎ 山口 祥平(天神福推協会長) | ○ 吉田 文代(天神福推協副会長) |
| ◆ 地域安全部会 … ◎ 松本 文男(保護司：西天神) | ○ 南里 宏(東浜町二組防犯部長) |
| ◆ 環境衛生部会 … ◎ 楠本 武士(東天神町建設部長) | ○ 岡部 武夫(西天神町環境部長) |

「親睦球技大会」の監督会議を開催しました！



9月8日(日)に行われる崎辺自治協の伝統行事「第42回崎辺地区親睦球技大会」の監督会議が、8月1日(木)に開催されました。生涯学習部会長の河野さんの的確な司会で会議はスムーズに進行し、男子(ソフトボール：5チーム)・女子(ソフトバレーボール：6チーム)の組み合わせが決定しました。

大会は、崎辺中学校グラウンドと体育館をお借りして、8時30分より開会式を行い、9時から競技が始まります。崎辺地区5ヶ町が“我が町の威信”

をかけて戦います！ 選手・役員のみならず、町民の皆さんの熱い応援をお待ちしています。

こんな子どもを地域で育てたい！ 広島原爆の日 平和祈念式典「平和への誓い」から

8月6日 8時15分、公民館玄関前で東(広島方面)を向きサイレンに合わせて黙祷をしました。その後、テレビで平和祈念式典を見ていて、心打たれた小学生による「平和への誓い」を紹介します。(紙面の都合で改行を省略している部分があります。)【長崎新聞より引用】

私たちは、広島町が大好きです。ゆったりと流れる川、美しい自然、「おかえり」と声をかけてくれる地域の人、どんなときでも前を向いて生きる人々。広島には、私たちの大切なものがあふれています。

昭和20年(1945年)8月6日。あの日から、血で染まった川、がれきの山、皮膚がはがれた人、たくさんの亡きがら、見たくなくても目に飛び込んでくる、地獄のような光景が広がったのです。大好きな町の「悲惨な過去」です。被爆者は語ります。「戦争は忘れることのできない特別なもの」だと。私たちは、大切なものを奪われた被爆者の魂の叫びを受け止め、次の世代や世界中の人たちに伝え続けたい。「悲惨な過去」を「悲惨な過去」のままで終わらせないために。二度と戦争をおこさない未来にするために。

国や文化や歴史、違いはたくさんあるけれど、大切なもの、大切な人を思う気持ちは同じです。みんなの「大切」を守りたい。「ありがとう」や「ごめんね」の言葉で認め合い許し合うこと、寄り添い、助け合うこと、相手を知り、違いを理解しようと努力すること。自分の周りを平和にすることは、私たち子どもにもできるのです。

大好きな広島に学ぶ私たちは、互いに思いを伝え合い、相手の立場に立って考えます。意思をもって学び続けます。

被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます。

令和元年(2019年) 8月6日

子ども代表 広島市立落合小学校6年 金田 秋佳
広島市立矢野小学校6年 石橋 忠大

歳をとったせいか涙腺が弱くなり、子どもの表情と言葉の奥深さに感動し、涙が止まりませんでした。ふるさとを愛し、「この町が大好き」「みんなの大切を守りたい」と思える子どもを地域で育てていきたいものですね。そんな“まちづくり”が、自治協の役割だと改めて強く感じた8月6日でした。